

Q&A

バスパネルについて

Q. 特注サイズについて教えてください。

A. 下記製品は6mまで対応しております。ただし、4mを超える場合は運賃別途見積となります。

バスパネル種類	特寸
バスパネル不燃	1,000~6,000mm
バスパネル準不燃	2,001~6,000mm
バスパネルBTJ	4,001~6,000mm
バスパネルWJ	2,001~6,000mm

Q. バスパネル準不燃は壁に使用できますか？

A. 使用可能です。ただし、シャワーフック・手摺り・壁面収納等を取り付ける壁面には使用できません。

Q. 接着で貼れる樹脂製パネルと貼れない樹脂製バスパネルの違いは何ですか？

A. 裏面のアルミが異なります。
接着可能：バスミュール・サニタリーゾーンパネル
⇒アルミフィルム
接着不可：前述以外
⇒アルミ蒸着フィルム（樹脂フィルムに蒸着）

Q. バスパネルにキズがついた時の補修方法を教えてください。

A. アルミ製バスパネルは、専用の補修塗料を塗ってください。樹脂製バスパネルは貼り替えになります（表層にUV塗装を施しているため塗料での補修ができません）。

Q. バスパネル準不燃の色調とマンセル値を教えてください。

A. マンセル値を下記に示します。マンセル値は色番号の近似色を示すもので、あくまで参考値です。材質や着色方法等、条件によって見え方が異なることがあります。なお、専用の補修塗料もご用意しております。

色・柄	マンセル値
ホワイト	5Y9.2/1
ソウゲ	5Y8.5/1.5
ライトグレー	5YR8.5/0.2
あすか檜	7.5YR7.5/4
新生檜	8.6YR6.9/5.7

Q. 別売部材にも内装制限があるのでしょうか？

A. 別売部材には内装制限はありません。

Q. 樹脂系別売部材をアルミ製バスパネルに使用できますか？

A. 納まり上は使用可能ですが、色・ツヤが異なるため、アルミ製バスパネルにはアルミ系別売部材を使用してください。

Q. バスパネルのR施工可能範囲について教えてください。

A. R施工対応製品と最低R寸法は下記の通りです。この数値はパネル長手方向のものであり、巾方向ではありません。また、ビスピッチは303mm以下とします。

バスパネル種類	R施工可能範囲
バスパネル不燃	不可
バスパネル準不燃	R7,000mm以上
アルミ系別売部材	
バスパネルBTJ	R5,000mm以上
バスパネルWJ	
樹脂系別売部材	

Q. 住宅用バスパネルと物件用バスパネルの違いは何ですか？

A. 物件用は目地調整が必要なため『目地有り』、住宅用は目地調整が不要なため『目地無し』としております。

Q. 新築の在来浴室の壁面納まりにおいて、床面より壁面にタイル1枚分上げるのはなぜでしょうか？

A. 床と壁の入隅部は完璧な止水ができません。そのため、床からタイル1枚分立ち上げて止水します。

Q. 『アルパレージ』と『バスパネル』の断熱性能は異なりますか？

A. 『バスパネル』は約8mmの断熱材を充填しているため、断『アルパレージ』よりも断熱性能が優れています。
※熱貫流率 アルパレージ3.5kcal以下、樹脂製バスパネル2.0kcal以下

Q. 『アルパレージ』施工の際、ジョイント材は必要ですか？

A. 『アルパレージ』を1つの面に3枚以上貼る場合、少なくとも2枚おきにジョイントが必要となります。

Q. 『アルパレージ』施工後の養生時間を教えてください。

A. 浴室は朝から施工し、施工完了日の夕方から使用可能です。脱衣室やトイレは施工完了次第使用可能です。

Q. 別売部材の耐用温度を教えてください。

A. オールアルミ部材は100℃、アルミ樹脂嵌合部材・樹脂部材は50℃です。

Q. 水切用バックアップ材は、アルミ水切りにも使用できますか？

A. 使用できます。樹脂・アルミ兼用となっております。